

情報教育及び e ラーニング開発支援体制を拡充

長崎大学情報メディア基盤センター

野崎 剛一, 藤井 美知子, 丹羽 量久, 上繁 義史, 古賀 掲維, 柳生 大輔

1. 情報メディア基盤センターの専任教員の増員

長崎大学においては、情報メディア基盤センターは主に学術系情報基盤の企画、管理、運用並びにその利用に係る技術支援及び研究開発を行ってきた。これまで、当センターの専任教員 4 名（教授 1, 准教授 1, 助教 2）がこれらの業務を担っていたが、平成 23 年 5 月 1 日より、大学教育機能開発センターの教員 3 名（教授 2, 准教授 1）が当センターに異動し、当センターは長崎大学における情報基礎教育の中核組織としての機能が加わるに至った。（平成 24 年 4 月、助教 1 名が工学部に異動、現在 6 名）

2. 新しい教養教育新体制へのセンターの取り組み

長崎大学では、平成 24 年 4 月より教養系科目体系の大幅な刷新を行っている。その特徴は（1）教養必修科目の再編と（2）モジュール教育の導入である。これらのいずれについても、当センターの全教員が直接関係科目を担当し、教養教育における情報技術の基礎知識や活用技法を教授している。

2.1. 必修科目「情報基礎」の教材開発と授業実施

上記の教養必修科目の再編の中で、情報系科目についても刷新され、従前の科目「情報処理入門」を後継する形で新科目「情報基礎」（1 年対象、前期開講）が開講された。平成 24 年度は、当センターの全教員で、本科目の授業設計や教材開発を行うとともに、全 30 クラスの授業を担当した。表 1 に情報基礎の授業概要を示す。

表 1 情報基礎の授業概要

サブタイトル	授業の概要
ガイダンス	情報基礎の授業の概要と、学習にあたって必要な準備を行う
ICT 基礎知識編	
情報セキュリティ	情報セキュリティの定義と情報社会での身の守る基礎を学ぶ
情報の検索・活用と情報倫理	検索サイトの種類と情報検索法の基礎、情報倫理の考え方を学ぶ
情報のデジタル化	情報のデジタル化とコンピュータでの記憶の仕方について学ぶ
ネットワークの仕組み	コンピュータネットワーク等での情報通信の基礎を学ぶ
PC 操作スキル編（授業の順序、回数はクラスによって異なる場合がある）	
プレゼンテーション作成術	PowerPoint を使った効果的なプレゼン資料作成法を学習する
文書作成技法	学会原稿の作成を目標に、Word の様々な機能を活用した文書作成の方法を学ぶ
表計算技法	Excel の様々な機能や関数を活用した、表の作成や集計、グラフの作成方法を学ぶ
Web ページの基礎	プレゼン資料の HTML 化を目標に、HTML エディタによる Web ページ作成の基礎を学ぶ
総合演習	

2.2. モジュール教育における情報系教養科目群の開講

長崎大学で導入するモジュール教育は、これまでの選択科目（複数）の代替として、学部ごとに必修となる「学部モジュール」に加え学生は自分の関心があるテーマの科目群（モジュール）を全 23 モジュールの中から一つ選択し、その中から 1 年生後期～2 年生後期の期間でそれぞれの学部が定めた単位数を必ず履修するものである。当センターも表 2 のモジュール科目群「情報社会とコンピューティング」を提供し、平成 24 年 10 月より、情報の技術や社会での利活用、セキュリティに関する知識を深め、実践的な情報処理技法を習得させる教育を展開する予定である。

表 2 モジュール科目群「情報社会とコンピューティング」の概要

	科目名	概要
モジュールⅠ	情報の活用	デジタル文書作成技法と表計算技法の中級レベルを学ぶ
	情報社会の安全と安心	情報社会におけるセキュリティ維持に関する考え方を学ぶ
	計算機の科学	コンピュータの動作原理、データ表現などのしくみを学ぶ
モジュールⅡ	問題解決のアルゴリズム	アルゴリズム設計やプログラミング言語の機能などを学ぶ
	情報と社会	実社会（経済、技術、医療など）と情報の結びつきを学ぶ
	情報化の役割と課題	実社会で運用されている情報システムからその役割を学ぶ
	情報通信とコンピュータネットワークのしくみ	ネットワークの要素技術などから情報通信の仕組みを学ぶ
	情報化時代の仕事術	ライフハックの事例から、現代の情報社会での仕事術を学ぶ
	ソフトウェアの利用技術	解決すべき問題に応じたアプリケーションの活用術を学ぶ

3. e ラーニングコンテンツ開発支援室設置

当センターでは、これまでも e ラーニング普及の為の活動を行ってきた。その推進体制をさらに拡充し、LMS（Learning Management System）利活用や映像・音声の素材収録などを支援する「e ラーニングコンテンツ開発支援室」を平成 24 年 7 月 1 日に設置した。主に以下のような支援活動を展開する。

- (1) e ラーニングの導入支援
- (2) e ラーニングコースの設計・作成に関するコンサルティング
- (3) e ラーニングシステムの活用支援
- (4) オフィス系・デザイン系ソフトウェアの活用支援
- (5) 映像・音声コンテンツ素材の収録
- (6) コンテンツ素材の変換・加工
- (7) オープンコースウェア(OCW)の作成・公開支援
- (8) e ラーニング、e ポートフォリオに関するセミナー・ワークショップ等の開催

4. 今後の展開

長崎大学情報メディア基盤センターは情報インフラに関する機能に、情報基礎教育の機能が大幅に強化されたことで、大学における ICT を活用した教養教育などの研究・実践・支援の効果が期待されている。また、CIO を中心とした情報ガバナンスを構築・強化するために、従前以上に情報政策の中核としての活動が求められている。